

## 平成 31 年度 兵庫県立西宮甲山高等学校 特色選抜 小論文（作文）課題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

### 【課題文】

ユウキとアヤカは教育総合類型の3年生。毎週、「甲高自然博物館」の授業で、同じクラスの仲間たちと「生徒が創る幼児向け自然体験プログラム」の準備をしてきました。いよいよ明日は、保育園の子どもたちを招いて活動します。放課後、教室に2人で残って話をしているところに、保育園の先生が、様子を見に来てくれました。その先生は、教育総合類型の1期生で、保育士として働いて今年で5年目の先輩です。

先生 「お疲れさま。暑い日が続くけれど、2人とも、体調崩していない？」

ユウキ 「はい、大丈夫です。でも、さっき裏山に入ってきたところなので、ずいぶん汗をかきました。な、アヤカ。」

アヤカ 「あら、それでもグラウンドや校舎に比べると涼しいのよ。緑の中を土を踏みしめて歩いていくと、空気もひんやりと気持ちがいいし、心が洗われる気がするわ。」

先生 「わかるわかる。私も高校生のころ、あなたたちと同じような気持ちになったのを覚えているわ。授業や講座で裏山に入るたびに、自然から元気をももらったものよ。今日は裏山で何をしてきたの？」

ユウキ 「明日の本番に向けて、最後の確認をしてきました。子どもたちの安全を考えて、今まで準備してきて、何度も裏山にも入っているのですが、きのう少し雨が降ったし、心配だったので。」

アヤカ 「土の状態も、思っていたよりよかったよね。だから、①予定通りのルートで活動できそうだねってさっき話していたところなんです。」

先生 「そう、私もきのうの雨のことが気になっていたから、それを聞いて安心したわ。道も、昔はあんなに整えられていなくて、ルートも限られていたのよ。」

アヤカ 「先生から聞きました。毎年、裏山に入った先輩たちが、新しい道を使うことができるように整えていって、今の道があるんですね。木の幹や枝につけられた表示も、先輩たちが一つひとつ調べて作ったって。先輩ってすごいなあと思います。」

先生 「本当にそうね。アヤカさんたちも、今こうして活動していることが後輩につながっているのよ。頑張らないとね。」

ユウキ 「そうなんだよなあ。先輩たちの姿にあこがれていたのに、あっという間に自分が最上級生だもんなあ。このノートももうボロボロだよ。」

先生 「あら、それは何？」

ユウキ 「教育総合類型ノートです。授業のレポートや、実習や講座で気づいたことをメモするために使っています。裏山で見つけた自然や作った作品は、忘れないようにファイルにとじています。これは講座のときの②どんぐりの葉っぱだ、懐かしいなあ。」

アヤカ 「あら、③楽譜もちゃんととってあるじゃない。ユウキって意外としっかりしてるのね。」

ユウキ 「その言い方はひどいなあ。僕だって、自分なりに④将来の夢に向かって努力しているんだよ。これを見返すと、そのときの気持ちをはっきりと思い出すことができるんです。困ったり、道に迷いそうになったりしたときは、このノートが支えになっています。」

先生 「2人とも、しっかりしているのね。頼もしいわ。今まで準備してきたはどうだった？」

ユウキ 「とても楽しいです。僕は、1年生のころから、この授業を楽しみにしていました。自分たちで一からプログラムを考えるのは初めてで、みんなで意見を出し合ったり、先生にアドバイスをいただいたりしながらつくっていきました。」

アヤカ 「ひとりだったら絶対できないわよね。子どもたちの笑顔を想像すると、みんなついつい一生懸命になりすぎてしまうんです。だから、話し合いは時間がかかったし、意見がぶつかり合うこともありました。」

先生 「よくわかるわ。みんなそれぞれの思いがあるからぶつかり合うのよね。」

アヤカ 「はい。でも、みんなが意見を出し合えたからこそ、いいものができました。」

先生 「もしかして、これも？」

アヤカ 「はい。このパズルのピースを森の中で見つけていくんです。教育総合類型の私たちと、保育園の子どもたちが、これからも手を取り合って成長できるように、願いを込めて作りました。」

先生 「あら、すてきね。宝探しみたいで、子どもたちも喜びそうだね。」

アヤカ 「ありがとうございます。インターンシップやふれあい農園のときに一緒に活動した子にも会えると思うと、なおさら気合が入りました。計画を立てているときも、メダルを作っているときも、その子たちの笑顔がずっと目に浮かんでいました。」

ユウキ 「明日、楽しんでもらえたらうれしいな。…あれ、ピースが足りないよ。」

アヤカ 「あ、本当だ。絵の具を塗りなおして、まだ乾いていなかったからよけておいたんだわ。」

ユウキ 「それならよかった。先生、明日もよろしくお願いします。お忙しいのに、来ていただいてありがとうございます。」

先生 「こちらこそ、お世話になります。ここに帰ってくると、初心を思い出すことができ、私も勉強になるわ。」

アヤカ 「先生みたいに、甲高で学んだことを、子どもたちや後輩に少しでも伝えていけるようになりたいです。」

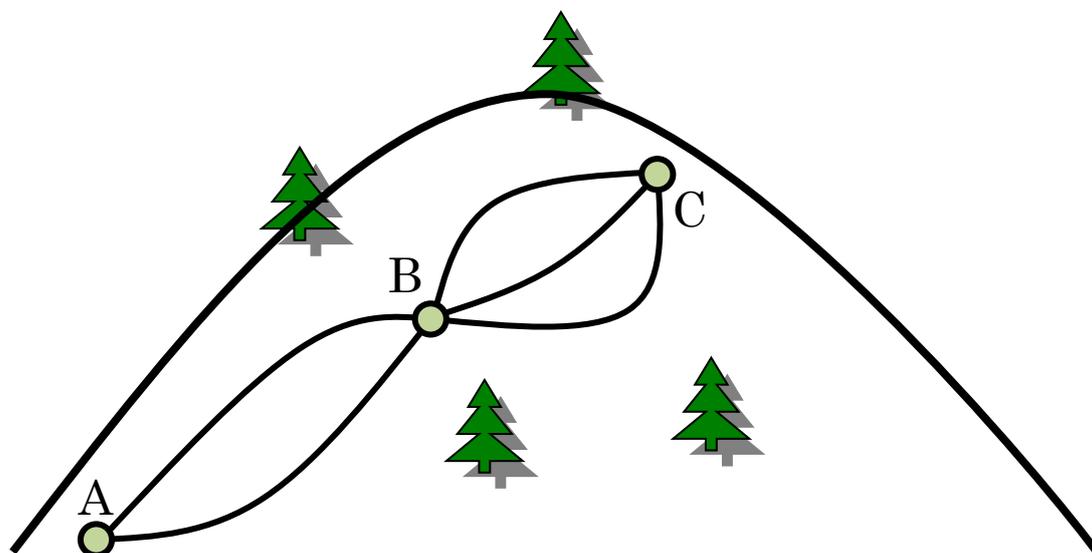
先生 「そんなにほめられるほどでもないわよ。じゃあ私は、職員室に寄ってごあいさつしてから帰ろうかな。」

アヤカ 「私たちも途中まで一緒にします。」

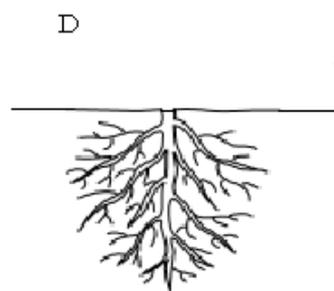
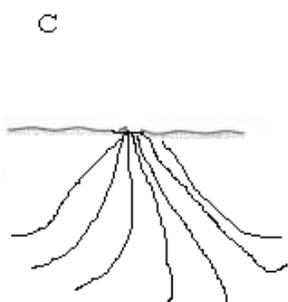
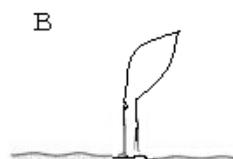
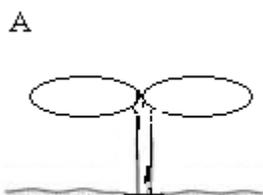
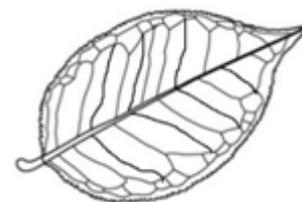
アヤカは、最後の1ピースが乾いているのを確認して、パズルにはめ込みました。甲高生と子どもたちの間に、大きな虹がかかって輝いています。ユウキとアヤカは明日、教育総合類型の先輩たちが切りひらいた道を通り、子どもたちと新しい道をつくっていきます。3人は、あたたかい日差しの残る教室をあとにしました。

I 下線部①について、裏山には下の図のように道があります。

地点Aから地点Bに行く道が2本、地点Bから地点Cに行く道が3本あるとき、AからBを通過してCに行く道順は何通りありますか。



II 下線部②について、右の図はどんぐりの木の葉です。子どもたちはあなたに「どんぐりを土に植えたらどんな芽がでるのかな？根はどんな形をしているのかな？」と質問しました。絵に描いて説明する時、どのような絵を描きますか。芽と根の組み合わせとして正しいものを、(ア)～(エ)の中から一つ選んで記号で答えなさい。



- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| (ア) A・C | (イ) A・D | (ウ) B・C | (エ) B・D |
|---------|---------|---------|---------|

III 下線部③について、ユウキの「教育総合類型ノート」にはさんであったものは、保育園を訪れるときに練習した季節のうたの楽譜でした。下の楽譜は、うたの最初の4小節を示したものです。曲名を、(ア)～(カ)の中から一つ選んで記号で答えなさい。



(ア) 春の小川	(イ) もみじ	(ウ) 春が来た
(エ) こいのぼり	(オ) 茶つみ	(カ) 冬げしき

IV 下線部④について、「私は保育士になりたい。」という意味になるように、( ) に英単語を1語ずつ入れなさい。

I ( ) ( ) ( ) a nursery school teacher.

V 子どもたちと自然体験活動をするうえで、保育士として最も気をつけなければならないことは何ですか。それをあらわした最もふさわしい部分を課題文の会話の中から8字で抜き出さなさい。

VI あなたは、教育総合類型の活動の中で、特に力を入れて取り組みたいことは何ですか。具体的に活動名をあげて、その活動に期待することとあなたの決意を書きなさい。180字以上200字以内で述べなさい。

ただし、句読点も1字に数え、改行せずに詰めて書きなさい。

VII あなたの目指す職業は何ですか。その職業に求められる役割と、そう考える理由を書きなさい。180字以上200字以内で述べなさい。

ただし、句読点も1字に数え、改行せずに詰めて書きなさい。